

学童期及び青年期アトピー性皮膚炎の有病率

出典	皮膚科の臨床(0018-1404)39巻11号 Page1669-1671(1997.10) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/1998062225)
著者	杉浦久嗣 他
調査地域	滋賀県
調査時期	1994~1996年
調査対象	5~18歳
依頼数	7215人
回収率	100%
有効回答率	100%
診断方法	医師による診察
有症率	5~6歳： 24% 7~9歳： 19% 10~12歳： 15% 13~15歳： 14% 16~18歳： 11%
調査概要	大津市居住の幼稚園児、小学生、中学生及び高校生 7215名を診察し、ADの有病率を調べた。5~6歳児 24%、7~9歳児 19%、10~12歳児 15%、13~15歳児 14%、16~18歳 11%であった。